

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	5		定員に対してのスペースは狭く感じているが、配置換えや仕切りを用いて場所を確保し、活動を行うようにしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	4		基準配置数は満たしているが、職員の数がもう少し増えればより手厚い支援ができると思う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	5		現在肢体不自由な利用児がいないため、必要に応じて改善していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1		計画と評価を繰り返し行えてはいるが、全ての職員が参画しきれていない現状のため、今後全体での話し合いをもっと持つようにしたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		アンケートを実施し、改善が必要な点は把握して改善するよう努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2		事業所評価をHPに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	3	現在は行っていないが、今後取り入れていく予定。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1		概ね2ヶ月に一度は法人内研修を行い、機会があれば外部研修にも積極的に参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		利用児童のアセスメントや保護者の意向を聞き取り、適切な個別支援計画を作成するよう心がけている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2		法人で統一したアセスメントシート・フェイスシートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		話し合いを持ち、共通理解した上で活動プログラムを組むよう心がけている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			粗大運動・微細活動・制作など様々な活動プログラムを組むようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3		細やかにはできていない現状だが、話し合いを持ちながら設定・実行している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2		障害特性や個々の成長に合わせて丁寧な支援計画を作成するよう心掛けている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			確実にいき、支援に支障が出ないよう活動メニューや役割分担等の確認を密に行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2		終了後だけでなく、気づいた時点で職員間で情報共有を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		行動観察記録を個別に作成し、個別支援計画に沿った支援を行えているか検証を行っている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	2		6ヶ月ごとにモニタリングを行い、個別支援計画の見直しが必要な場合は実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2	4		自立支援・創作活動を基本活動とし、児童同士のコミュニケーション力を向上できるような様々な活動を組み合わせている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			各学校の年間計画や下校時間を確認している。課外学習等で引き渡し時間が不確かな場合は学校に確認するようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	4	1	医療ケアの必要な児童の受け入れは現在行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4	1	主に相談支援専門員との情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	2	現在その状況にない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2		研修には積極的に参加するよう心掛けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	1	放課後児童クラブ等との交流機会は無いが、地域交流やイベント等へは積極的に参加している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	3		管理者が参加し、意見交換を行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			送迎や引き渡し時に状況を伝え合い、成長した点や見えてきた課題等共通理解するよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3		児童の課題について保護者と共通理解を図り、課題を乗り越えるための手立てを一緒に考えたり、成功体験を伝えたりしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	2		見学時や契約時に丁寧な説明を心掛けている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			相談があった際は情報を整理し、適切な助言ができるよう努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	4	父母の会や保護者会は現在開催していない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情があった際は法人全体で対応を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	2	定期的には発行していない。行事等のお知らせはその都度連絡をしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			職員同士で声を掛け合いながら十分気をつけている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			発語の無い子、発語があっても必要な時に話せない子もいるため、日頃のコミュニケーションを大事にしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	2	事業所の行事に地域の方を招致はしていないが、法人全体での作品展を開催し、周知している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		それぞれマニュアルを作成し、職員に周知、非常時の保護者との連絡方法等共有を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1		必要に応じて避難訓練や、非常時の行動について話をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1		虐待防止責任者の配置、研修等への参加を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3		現在身体拘束はない。マニュアルは作成し対応できる状態にしてある。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	4		保護者に確認し、職員間で共通理解して支援を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			事例集を作成し、職員間で情報共有している。